



平成30年度第7回定時総会

(2018.5.19)

平成三十年度の事業活動

支部長 今井 康之(昭32経営)

本年も地域密着型地域支部を目標に活動して参ります。自然に恵まれた清瀬の地を再認識するために今年も地元の方々と連携してイベントを企画していきたいと考えております。

春には「水再生センター見学」、「大林組技術研究所見学とギンラン・ギンラン観察」とお花見を兼ねて開催いたしました。夏には「清瀬ひまわり祭り」秋には柳瀬川の「曼珠沙華観察会」、冬は「金山公園野鳥観察会」への参加とイベント企画が目白押しです。

また、清瀬を飛び出し「東京湾クルージング」を八月に実施しました。秋には「多摩湖一周ウォーキング」を予定しております。更に石川県で開催される全国校友大会への参加。母校のスポーツ応援として、「箱根駅伝」復活の予選会応援、宿敵早稲田を撃破すべく「明早ラグビー応援」また、「六大学野球応援」と血沸き肉躍る母校応援への参加と盛り沢山のイベントを計画しています。

身体を動かすだけではなく「脳トレ」としての「紫紺句会」は益々充実しております。十月に開催される「石田波郷大会」の入選を目指して日々句帳と歳時記を持ち歩き格闘しておりますのでご期待ください！

健康増進、母校応援、自然観察、脳トレと皆様のご参加をお待ち申しあげます。

会員には地元のサークルなどで積極的に活動をされている方が大勢おられます。「清瀬老人会」「子供食堂」「民謡倶楽部」「囲碁クラブ」「新潟県人会」「絵画教室」「合唱サークル」「還暦軟式野球」と数えきれないほどの会で活躍されています。更には「謎の設計士」「謎の庭師」として活躍されている方もいます。会員のパワーを集結し今年も新企画にチャレンジしていきたいと考えております。お一人では参加しづらい、やったことがないと尻込みをされている方、一歩前に踏み出しませんか。

第七回清瀬地域支部定時総会を終えて

幹事長 粕川 偉三男 (昭48政経)

去る五月十九日、第七回総会が開催されました。

課題である女性会員の拡大、会員の拡大の為あらゆる可能性を追求して参りたいと考えております。着実に進歩している「紫紺句会」、健康増進を兼ねた「ウォーキング」などのイベントをはじめ情報共有として「紫紺ネット」の活用、他地域支部との連携等積極的にトライして参りますので、一層のご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

第十五回多摩支部総会に出席して

幹事長 粕川 偉三男 (昭48政経)

七月一日に多摩支部総会が開催されました。今回は運営担当幹事として、国立、国分寺、昭島、青梅の各地域支部の皆様と実行委員としてお手伝いをさせていただきました。

昨年八月、第一回目の実行委員会が開催されました。役割として清瀬地域支部はイベントを主とした担当として準備に当たりました。

西山多摩支部長の方針として「女性会員の活躍」が掲げられ、いかに具体化するか腐心いたしました。

校友の方のお嬢様に宝塚OGの方がおられ「カジキタドリーム」として活躍され、イベントの目玉として出演して頂きました。更に母校現役学生生の「津軽三味線 響」という団体も出演し、総会懇親会に花を添えてもらいました。

来賓の荒川利治明治大学情報担当常務理事より母校の現況報告がありました。

- ① グローバル化への取り組み
- ② 財務体質の説明
- ③ 女子学生比率の上昇

- ④ 閣議決定された都内大学定員増の歯止め
- ⑤ 他大学アメフト問題に対して危機管理の取り組み等大変興味深い事項が披露されました。

一方、西山支部長からは課題に対する取り組みが披露され、地域支部間での校友会活動の温度差、組織率等が報告されました。

今回冒頭で紹介させていただいた女性の活躍として、初の女性の総会議長が選出され、議事運営を取り仕切られました。

清瀬支部からは七名が出席し、顔見知りの他地域支部の方々と親交を深められた場になったと確信しています。これからは清瀬地域支部を如何にアピールするかを皆様と知恵を出していきたいと考えております。

新入会員紹介

『目指したい』

清水 計明さん (昭53商)

昭和五十三年商学部卒の清水計明です。

私は、静岡県浜松市三ヶ日町で生まれました。中学では県大会を、高校では甲子園目指して、野球をしていました。



大学では体育会準硬式野球部に入部し、東京六大学リーグ戦の優勝を目指していました。その後、保谷市役所(現西東京市役所)に就職し、官公庁野球大会目指し職場の野球部に退職するまで所属しておりました。

現在は、清瀬市竹丘に住んで十四年、昨年から地元の野球チームに入部し、東京都還暦野球連盟一部目指して野球を楽しんでいます。

定年退職して三年目ですが、地域で何かつながりの機

会はないかと思っていた時に、校友会のがきが届き、入会させていただきました。

今後は、明治大学校友会清瀬支部の一員として、微力ではありますがお役に立てることを目指したいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

新入会員紹介

『明治大学が好き』

気賀澤 陽一さん (昭60商)

このたび、校友会に入会させていただきました。昭和六十年商学部卒の気賀澤

陽一と申します。

定期的にご案内を郵送していただいたので興味を持ち、今井支部長宅をお訪ねしたのが入会のきっかけです。



私は、清瀬小、清瀬中、都立保谷高校を経て進学しました。大学には愛着を持っております。

清瀬で生まれ、清瀬で育ちましたので、市内のことは多少詳しく、いろいろ思い出があります。また、二人の子供も清瀬で生まれ、同じ小、中学校を卒業しました。今でも大学の仲間、小中学校の友人とよく会っております。

仕事が忙しく、なかなか行事に参加できないかもしれませんが、ただだけお役に立てるかわかりませんが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

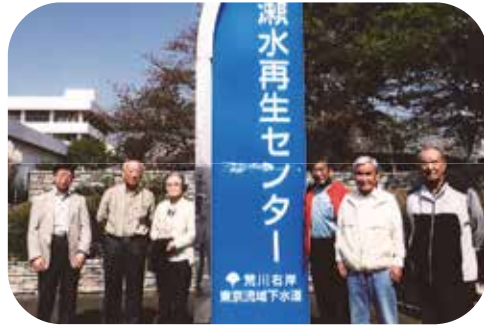


台田の曼珠沙華

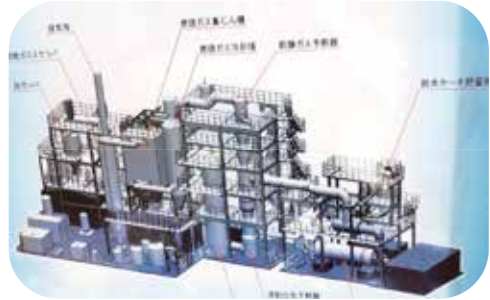
清瀬水再生センターを訪ねて

穴田 作道 (昭38政経)

今年の桜開花が大変早かったことは、もう記憶に遠い時期になりましたが、そんな頃に市内下宿にある東京都下水道処理施設を訪ねました。



水の勉強に集まった校友



水再生プラント

四月四日(幸せの日)は気温二十六度の夏日。本来は観桜を兼ねた「施設開放」の日でした。敷地内では名残りの桜とともに、二十数本の姫リンゴの満開の白い花が迎えてくれました。敷地は二十一万㎡と広大ですが、色とりどりの木々に囲まれ、四季それぞれに花や果実が楽しめる環境となっています。

清瀬水再生センターの処理区域は、清瀬・東久留米・東村山市など九市。その面積は八〇四二haに及ぶそうです。

家庭や工場からの排水を、処理し再利用する施設構造やメカニズムは省略しますが、見学から得た情報の二点を紹介します。

現在、処理される再生水は日量二十二万トン(処理能

力三十六万トン)で、二十五mプール四〇〇杯分にもなり、柳瀬川に放流されています。その排水口には多くの魚が集まっています。

最終的に残された下水汚泥は、熱処理されアスファルト舗装材や埋立土などの資源として利用されています。

一方、管理棟には映像コーナーや工作コーナーが設置され、多くの子供たちや高齢者が楽しんでいらつしやいました。下水の汚れは、微生物の活躍がなければきれいにならないそうです。映像コーナーの顕微鏡で見た産卵間近のクマムシ(地球が氷河期になっても生き残れると言われています)の動きが、私には大変興味深いことでした。

また、隣接の下宿ビオトープにも案内されました。私たちの生活環境にとつてなくてはならない施設。是非一度見学し、理解を深めることをお勧めしたいと思っています。

毎年の恒例行事とのこと。来年は桜満開のころを期待しています。

なお、当日の施設ボランティアに我が校友会の仲間が活躍していました。

油・断・快適!下水道

下水道に油を流さないで

心よりお見舞い申し上げます

近年、地球はかつてないほどの天災・人災に覆われています。地震・豪雨・台風のほか交通禍などその被害は後を絶ちません。特に、今年には、地震や豪雨による九州、中国、四国地方、また、台風二十一号による関西地方。

そして北海道では、突如、大地震に襲われ、甚大な被害を被りました。

校友・会員のご実家、ご親戚、ご友人関係者の罹災者のみなさまには一日も早い復興を心から願っています。

明治大学校友会清瀬地域支部

大林組技術研究所見学とギンラン・ギンラン観察会

中村 曠 (昭36政経)

四月二十七日(金)快晴の朝、大林組技術研究所入口に集合。私達は研究所見学後に「清瀬の自然を守る会」主催のギンラン、ギンラン観察会に合流することになっていました。研究所広報の渡辺さんの案内で入館、会議室でビデオによる研究所の歴史、規模、研究概要を紹介されました。

広大な約七万平米の敷地は本館と実験棟からなり、実験棟ではこれまでの硬質ゴム製の耐震設備にかわる震度5でも揺れを感じない油圧性能を活用した最新耐震設備で建築されています。また住居環境に快適性を考慮した建築資材の開発等に携わっている研究者が実践している部屋を見学しました。最新設備を設置した建物は、地震の際は避難場所になるなど冗談を交えた見学会でした。

その後「ギンラン・ギンラン観察会」に合流、研究所裏側の雑木林にはギンラン、ギンランが点在、一本一本に整理番号札を付け、記録を取っていました。二十一年間に亘る生態観察を続けているそうです。観察会後に会議室で専属の植物研究員から資料、映像による講演を受けました。大林組の技術研究の中枢と自然に触れた見学会は、内容の濃い貴重な半日でした。



大林組技術研究所前で



ギンラン



ギンラン

東京クルーズ船「ホタルナ」乗船記

西尾 修一（昭44政経）

昨年の夏は、日本橋の船着き場を出発して、東京湾を一周して回るコースのクルージングが初めて企画され、大変好評を得ておりましたので今年も再度開催のイベントと成りました。

当日八月五日の日曜日は、各地で四十度を記録するという危険な猛暑の一日でした。参加は校友会清瀬地域支部八名、国分寺地域支部二名、東久留米地域支部一名、俳句教室九名の総勢二十名での船旅となりました。朝七時五十四分清瀬発の電車に乗り、池袋、上野と乗り継いで浅草へ着きましたが船の出発時刻十時より一時間以上早い到着となりました。隅田川の船乗り場駅も開いておらず浅草寺、仲見世商店街をぶらぶら散策する事となりました。

界限はすでに猛暑にかかわらず外国人観光客で賑わっていました。途中で休憩をした喫茶店の女将さんが言うにはお客さんの九割が外国人で日本人はたったの一割だとの事でした。



悠然と波切る「ホタルナ」

定刻となり隅田川ライン観光のスタートです。乗船した船の名前は「ホタルナ」という名で漫画・アニメ界の巨匠松本零士が宇宙船をイメージにデザインしたシルバーメタリックの船体です。ネーミングは月が輝く夜に神秘的な輝きを放つ蛸と月を組み合わせた造語でホタルナとなっ

たようです。

船内はガラス張り、明るくエアコンも充分に行き届き揺れも少なく百二十人がゆったり乗れる安定感抜群の船でした。

浅草を出発し、お台場海浜公園までの一時間十分の船旅ですが、目の前のアサヒビールやスカイツリーを見上げ途中、芭蕉庵史跡展望園等も眺め、何本もの橋をくぐり抜けて河口近くの永代橋をくぐると視界も一気に開け、屋上展望デッキも開放されました。陽射しは強いものの潮の香りを受けて開放感一杯で気持ちのいいものでした。聖路加ガーデン、浜離宮、築地市場、豊洲市場、マンシヨン群が目に入り晴海埠頭では自衛艦船見学会、また海上は水上バイクが飛び



「ホタルナ」の船内

回っていました。お台場ビーチを横目に終点のお台場海浜公園に着し、記念写真撮影も終え帰路につきました。昼過ぎには清瀬へ着き、南口のそば屋で食事、軽く一杯という事で有意義な一日を過ごすことが出来ました。

第十回麻雀大会に参加して

村野 良明（昭47政経）

記録づくめの猛暑、平成三十年の夏も終わりに近づいてきた八月二十三日、清瀬駅南口の麻雀荘『たんぼぼ』は快適な空調のもと十六人の男女が和気あいあいと歓談。それでもこれからの熱戦を前に若干の緊張感と意気込みが漂っていました。

明大校友会清瀬地域支部主催の第十回麻雀大会が、今井支部長の力強い開会宣言により熱戦の火蓋が切られま

した。

今回が三回目の参加の私、今回もまた、久しく遠ざかっていたことから勘も戻らず右往左往しているうちに終了。それでも何とも言えない充実感、独特な高揚感、麻雀の持つ不思議な魅力に酔いしれました。

私の麻雀との出会いは昭和四十三年明大入学とともに入部した部活の仲間によるものです。阿佐ヶ谷にあった仲間の四畳半の下宿で、ほとんど徹夜の連続で仕込まれ、初めての夏休みが終る頃には一人前の「にわか雀士」になっていました。その後は卒業までの四年間かなりの時間と労力を麻雀につき込み、途中自分は博才のない事に気付きながらも、その魔力に引き込まれていったのは、麻雀を介しての仲間達との交流でした。

後に、大学生活で麻雀に出会う事がなかったら、自分の人生もかなり違ったものになっていたのではなにかと想像した事があります。以下妄想です。

『きつと勉学に勤しんで、優秀な学業成績を修め、それなりの人生があったのではないか…』

あれから五十年近くが経ち、今でも当時の仲間達との交流は続き、私にとって貴重な精神的財産となっておりませう。

麻雀大会に誘われ、麻雀の面白さを思い出すとともに、麻雀との出会いの頃の青春時代の思い出がよみがえり、懐かしさに浸りました。

青春時代をいりどつてくれた麻雀、これを機にお酒ばかりの交流でなく、昔のように卓を囲むのもいいんじゃないかと仲間達に提案してみようと思えます。



青春時代を懐かしむ麻雀

私の選ぶ清瀬十景(七〜十)

福島 寛(昭37政経)

(七)「日枝神社・水天宮」(中瀬戸)

日枝神社と水天宮が同じ境内に鎮座しています。日枝神社は清瀬市の氏神様です。

水天宮は安産の神様として広く御信仰があります。お正月の三が日は、例年お参りする人の長い列が出来ます。



日枝神社・水天宮

(八)「けやき通りの彫刻群」(中里)

「けやき通り」は、清瀬駅北口から北へ延びる清瀬のシンボリックな通りです。

夏になると二百本の櫛が一六〇〇メートルに及ぶ自然のトンネルを作ります。

その「けやき通り」には二十四基の彫刻群が設置され、ケヤキロードギャラリーと呼ばれています。



緑豊かな「けやき通り」



笛吹き少年

(九)「気象衛星センター」(中瀬戸)

現在の気象衛星センターは、昭和五十二年に設置されました。

同年、日本で初めて打ち上げられた気象衛星「ひまわり」の管理運用と、衛星による気象観測を続けます。

同時に、地球全表面のほぼ四分の一にあたる面積を観察しています。



地球を見守る気象衛星センター



幼いキリン

(十)「石田波郷の句碑」(梅園)

石田波郷(二九一三〜一九六九)は昭和を代表する俳人の一人です。出身は愛媛県ですが、生前、清瀬とのゆかりが深く、その業績を末永く記念するため、二〇一三年九月に中央公園に句碑が建立されました。句碑には、波郷の詠んだ「七夕竹 惜命の文字隠れなし」と「遠く病めば 銀河は長し清瀬村」の二句が刻まれています。



惜命の「石田波郷句碑」

わが故郷「長崎県壱岐市」

中島 光永(昭58商)

長崎県壱岐市が私の故郷です。壱岐市は、平成十六年に郷ノ浦町、勝本町、芦辺町、石田町の四町が合併して誕生しました。

福岡県と対馬市の間地点で玄海灘に面し、福岡市博多港から西北に七十六キロ、佐賀県唐津東港から北に四十一キロの位置にあり、南北に長い亀状の島、壱岐本島と二十三の属島からなる全国で二十番目に大きな島です。両親は壱岐市芦辺町に住んでいましたが、東京に転居後、私は新宿で出生しました。壱岐市には、両親の墓があり、今も叔母や従姉妹たち親類が住んでおります。

壱岐市は昭和四十二年に、壱岐対馬国定公園に指定、昭和五十三年には、辰の島、手長島、妻ヶ島の三方所が海中公園地区に指定されるなど自然景観にも恵まれ、日本渚百選に選ばれ、美しい海などを目当てに多くの観光客が訪れています。また壱岐市は「魏志倭人伝」や「日本書紀」にも登場し、また弥生時代から海上交通の要衝となった歴史などから「国境の島、壱岐・対馬・五島」古代からの架け橋」として平成二十七年に日本遺産にも認定されました。特に、原の辻遺跡は、国内最大級の環濠集落であり、弥生時代の集落の特別史跡、国指定を受けています。海の幸も豊富で、ウニ、サザエやマグロ、ブリなど、農産物は米、いちご、アスパラガス、葉タバコ、そして畜産物として壱岐牛が有名です。また麦焼酎発祥の地としても知られています。

太古の昔から、東アジアと日本との交易の拠点として栄え、貴重な遺跡や歴史遺産が点在する「歴史の島」です。平成二十二年に「壱岐市立二支国博物館」、「長崎県埋蔵文化財センター」がオープン、これらを拠点に観光業にも力を入れております。

彦根市出身の著名人としては電力王松永安左エ門がいます。

彦根市への交通は長崎空港から彦根空港、船では博多港と、唐津港からです。

今年、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録されましたが、一味違う彦根市にもお出でください。



彦根市立一支部博物館



美しい辰の海海水浴場



「電力王」松永安左エ門記念館



原の辻遺跡

紫紺句会報告

榎谷 榮吾 (昭46法)

紫紺句会は、平成二十六年六月の発足以来毎月第三日曜日に定例化して開催していますが、九月十六日に記念すべき第五十回を開催しました。会にはこの四月より村野良明さん、六月より東久留米市の校友松江康司さんが加わり益々活気溢れる句会になっています。会員にとって毎月投句する3句を詠む時間は頭脳を刺激し老化防止にも役立つと思います。

☆多摩支部より助成金事業に採択される

多摩支部では三つ以上の地域支部の参加事業に助成金を出していますが、紫紺句会には国分寺地域支部と東久留米地域支部の校友も参加しています。清瀬地域支部として上半期分を申請した結果採択され、すでに助成金一万円を受領しました。これからも助成金事業にふさわしい句会となるように努めていきたいと思えます。紫紺句会会員の皆さんの一層のご協力をお願いします。

☆合評句会 (八月十九日開催) の報告

第四十九回紫紺句会は、細見道子先生が欠席でしたが、昨年八月と同様に清瀬句会より七名(上田さん、亀井さん、高崎さん、淵上さん、森田さん、山尾さん、吉澤さん)、ひなどり句会より一名(米山さん)の参加を得て総勢二十一名(欠席投句一名を含む)の合評句会として開催しました。いつもの男性陣ばかりの紫紺句会とは異なった雰囲気でも楽しい句会となりました。

句会では高得点句に紫紺句会より賞品をお贈りしました。高得点者は次の皆さんでした。紫紺句会の皆さんが健闘し好成績を収めました。

受賞句 (敬称略、同点句は五十首順)

六点评句

天を突く鬼の絵巻夏祭り

福島 寛 (紫紺)

庭花をひとつ手折りて盆支度

森田 京子 (清瀬)

五点评句

乳呑み児に出ぬ乳与ふ終戦日

佐藤 房夫 (紫紺)

大柄の亡夫によろける茄子の馬

森田 京子 (清瀬)

句会後は、十六名参加していつもの「はなの舞」にて二次会、さらに半数の人は三次会でカラオケを楽しみました。次回の合評句会も楽しみます。



どの俳句が良いかな？



盛り上った懇親会

◎第十回石田波郷俳句大会迫る

榎谷 榮吾 (昭46法)

今年の石田波郷俳句大会は、記念すべき第十回です。十月二十八日(日)に開催されます。主催者である清瀬市石田波郷俳句大会実行委員会は、今年の大会に向けて四月より毎月一回の頻度で会議を開催してきました。

我が校友会も実行委員会に三名参加しているほか、この大会の成功に向けて校友会より寄付金提供、紫紺句会より広告掲載、投句の俳句のパソコン入力作業に協力しています。また、大会当日の司会や会場係などにも協力することになっています。

☆岸本先生の講演

今回の大会では、当日の午後一時よりNHKテレビの俳句番組の選者でお馴染みの俳句結社「天為」の岸本尚毅先生の「波郷門の人々」の講演があります。貴重なお話が窺えると思いますので、是非ご来場し、会場をいっぱいにしていただきたいと思います。

☆俳句出前授業について

今年も市内小中学校の俳句出前授業が、五月十五日から七月十七日まで開催されました。「西の松山・東の清瀬」を目指し清瀬を俳句の街にするためにはこのような地道な活動が重要だと思えます。校友会より、俳句の先生として大山恭子さん、授業のアシスタントとして穴田さん、中村さん、私の三人が協力しました。小中学生の句に触れて我々も貴重な体験ができました。俳句が市内小中学生に根差していることは嬉しい限りです。

今年の大会の一般の部には、二一〇〇句余りの投句がありました。選者による審査はすでに終わり、受賞者にはまもなく通知が届く予定です。紫紺句会から久しぶりに入選者が出ることを願っています。

当日は、午前十時よりジュニアの部の表彰式があり、午後には講演と一般の部及び新人賞の表彰式が行われます。校友の皆さんには、是非ご来場のうえ大会を盛り上げていただきたいと思います。

【紫紺俳壇】

紫紺句会指導



がらり戸の隙より覗く凌霄花

俳句結社「隗」主宰

細見 道子

紫紺句会

億年の限なき月や剣岳
クレインの行き交ふ現場炎暑かな
病院の待閑散と遅れ盆
流れる雨情の唄や夏の雨
馬になり這ふ嬉しさや子供の日
古きよき縁日の夢ラムネ嗜く
待ちわびる恵みの雨や風涼し
炎天下読書三昧金次郎
赤とんぼ話をつむぐ糸電話
乳母車鳥の子ゐて回り道
黒き影一步に揺るる夏帽子
ゴーチチゴーチらと鬨ふ酷暑かな
ソダ水飲むに飲まれぬ初アト
ワイパーの一薙ぎす山滴るを
生ビール飲み干す元氣明日また
セミの声豪雨の後の静けさに

穴田 作道
柏川 偉三男
粕谷 彌太郎
斎藤 強
佐藤 房夫
島崎 光
中西 宣一
中村 曠
夏目 忠
西尾 修一
福島 寛
福田 信夫
梶谷 榮吾
松江 康司
松本 幹司
丸山 隆
村野 良明

第六回多摩湖一周ウォーキングのご案内

浅井 廣 (昭53文院)

恒例の秋の多摩湖一周ウォーキングの季節がやってきました。今年で六年目を迎えますが、年々多くの市民の皆さん、近隣地域支部からの校友の皆さんが参加されており、コースは、多摩湖一周十二キロをメインコースとして

あります。秋の体力増進に、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時 十一月十日(土) 小雨決行
集 合 九時三十分 西武球場前駅改札口

会費 三〇〇円(保険料ほか)
締切 十一月四日まで左記あてに電話・FAXでお申し込みください。
申込 福島

みんなの情報コーナー



一、清瀬地域支部イベント

- ① 秋の多摩湖一周ウォーキング(十二キロ) 十一月十日(土) 小雨決行

二、校友会本部イベント

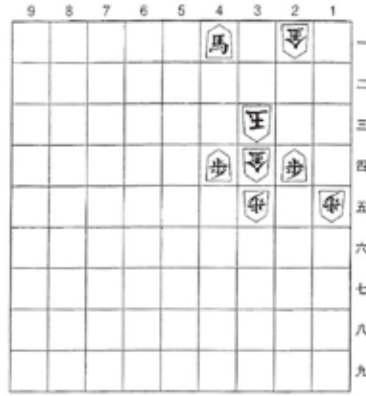
- ① 第二十一回ホームカミングデー 十月二十八日(日) 九時三十分から 駿河台キャンパス 卒業生は誰でも参加できます。

三、多摩支部イベント

- ① 箱根駅伝予選会(昭和記念公園) 十月十三日(土) 雨天決行 予選会スタート 九時三十分
- ② 六大学野球秋のリーグ戦(明早戦) 十月十四日(日) 十時・雨天中止 神宮球場三塁側学生生心援席入口前(五百円)
- ③ 地域支部ゴルフコンペ(昭和の森GC) 十月十五日(月)
- ④ 関東大学ラグビー(明早戦) 秩父官ラグビー場 十二月二日(日) 午後一時集合(四千元)
- ⑤ 第十回ディスクゴルフ大会 (平成三十一年三月二十三、二十四日、昭和記念公園)

チャレンジ!

詰将棋 (五手詰)



▲持ち駒 飛

解答

- ▲4三飛
- ▲1三飛成
- ▲2三馬
- 2二玉
- 同玉
- ▲まで5手詰

清瀬地域支部の情報は

清瀬のホームページ・ブログ開通!

ホームページ <https://meiji-3.jindofree.com/>
 ブログ https://blog.goo.ne.jp/tuyosil1940_007

清瀬紫紺ネット会員募集

情報・連絡用メールです。(要アドレス登録)
kiyose-event@meiji-tama.net

◎会員募集中!

年会費 二千元

◎会費納入のお願い!

本会報は、皆様の会費で作成しています。会費納入にご協力ください。



清瀬南口店

ご宴会は50名様までお受けいたします

清瀬駅南口 徒歩1分
 清瀬市松山1-11-12
 清瀬駅前ビル2F
 Tel.042-496-0253
 営業時間 16:00~翌3:00

日本料理 魚久

お祝い宴席ほか各種宴会をご用意しております

清瀬駅南口 徒歩1分
 清瀬市松山1-9-4
 Tel.050-5788-8323

営業時間 平日11:30~14:00
 16:30~22:00
 土日11:30~22:00
 定休日 月曜日

そば処 玉川

そば・うどん・丼もの
 配達いたします
 宴会承ります
 (忘年会・新年会・食事会等)

そば・うどんは自家製麺です揚げて天ぷらの美味しい店

営業時間 11:00~20:30
 定休日 水曜日
 住所 清瀬市上清戸2-6-28
 (郷土博物館となり)
 Tel. 042-493-3890

最近の報道は、高齢者の交通事故を大きく取りあげています。高齢者が加害者となり、また被害者になるケースが上位であることは間違いないようです。自分自身の「心身の衰え」を実感しましょう!
 なお、免許の返納もしっかり検討してはどうでしょうか。

交通安全に気をつけよう!

POSターミナルの導入・開発支援など

有限会社 マイテック

粕谷彌太郎 (S28政経)

本店

〒204-0022 清瀬市松山1-27-1
 Tel.042-492-0611 Fax 042-495-8357

本社事務所

〒113-0033 文京区本郷2-40-7
 YG30ビル 6F
 Tel. 03-3813-7761 Fax 03-3813-7763
 URL <http://www.a-mytech.co.jp/>

あなたの街の村越自転車

〒204-0022
 清瀬市松山2-3-3
 Tel.042-491-0349
 村越 勝重(S50工)

